

新基地建設反対名護共同センターニュース

“この国は法治国家と言えるのか！”

デニー知事「結論ありきだ」



玉城デニー知事は30日、石井啓一国土交通大臣が辺野古埋め立て承認の執行停止を求めたことに、「結論ありきで中身の無いものだ」と述べ、強い憤りを示しました。

決定を不服として国地方係争処理委員会に審査を申し出る方針も示しました。知事は内閣の一員である国交相の決定は「公平性・中立性を欠く判断がなされたことに、強い憤りを禁じ得ない」と反発し、工事再開を容認しない考えも示しました。



オール沖縄会議は26日、「県民広場で防衛局の横暴を許さない！ 県の埋め立て承認撤回に基づき、辺野古新基地建設断念を求める緊急県民集会」を開催、300人の県民が参加しました。



防衛局前で200人が抗議



稲嶺進・オール沖縄会議共同代表ら県民200人は30日、沖縄防衛局・防衛省に抗議行動。担当者に抗議・要請書を手交しました(写真)。

抗議集会で稲嶺氏は「防衛局は時に私人となり同じ内閣に「撤回」停止などの申し立てをし、同じ穴のムジナの国交大臣が承認するなど、この国は法治国家と言えるのか」と激しく抗議の声を上げました。

集まった参加者は、「県知事選挙で示された民意を尊重しろ」「我々は新基地阻止まで最後まで闘うぞ！」などとシュプレヒコールをあげました。

防衛局の申し立てを受け、
「承認撤回を執行停止」
する猿芝居
国交大臣が

首長選3連勝後初の第1土曜県民大行動に参加を！

辺野古に新基地を造らせないオール沖縄会議は、新基地建設工事に抗議する第1土曜日の大行動を呼びかけています。

知事選に続いて豊見城市長選、那覇市長選と「オール沖縄」の候補が自公維の候補に圧勝して以降、初のゲート前の大行動です。政府は県の「撤回」に対抗して行政不服審査法を悪用し国土交通大臣に停止など求め、同大臣は30日不当にもこれを認めました。安倍内閣の「一人芝居」は許せません。多くの参加でゲート前集会に参加し、抗議の声を上げましょう。

第1土曜の県民大行動

とき 11月3日(祭) 8:30~16:00

11時~12時は大集会を開催します。

ところ キャンプ・シュワブゲート前

主催 オール沖縄県民会議

「辺野古」の賛否を問う県民投票 4月までに実施へ

県民投票の成功へご協力をおねがいします。

元山 仁士郎



「辺野古」県民投票の会代表の元山仁士郎さんから次のメッセージが寄せられました。

みなさま、お世話になっております。「辺野古」県民投票の会の元山です。「辺野古米軍基地建設のための埋め立ての賛否を問う県民投票」の条例案が、県議会本会議で可決されました。請求代表者のみなさま、ご協力いただいたみなさま、いっぺんにふえーびたん。ありがとうございます。

県議会の最終本会議では、自民党と公明党が、賛否を問うだけでは多様な県民意見を反映できないとして、「やむを得ない」「どちらとも言えない」の選択肢を加えた4択で投票する修正案を提出しました。

与党は、4択への修正は「賛否を問う」として、署名を集めた条例案の趣旨を逸脱すると反論し、最終的には賛成・反対の2択で問う案が賛成多数で可決されました。辺野古をめぐる県民投票が来年4月までに実施されることになりました。

「話そう、基地のこと。決めよう、沖縄の未来」と掲げたテーマを真に実現できるよう、対話の機会を多く設けていきたいと思えます。ここからが私のやりたかったことなので、できることをがんばってまいります。今後ともみなさまのお力添えを賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。